



1873→2025

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

高鷲小学校だより

令和7年度 6月号

令和7年6月1日
羽曳野市立高鷲小学校
発行：校長 小島 博之

「つながり」に嬉しくなる

5月2日に生活科の学校探検がありました。2年生が1年生と手をつなぎながら校内を案内して回ります。「ここは〇〇室で、〇〇があって、〇〇するところです」と説明がなかなか立派です。当日私は校長室でお出迎え。その際必ず「がいこつ」（分身）の話をするのですが、話が終わったころにはみんな「がいこつさん」が大好きになり、その後校長室前を通りがかった時に「がいこつさん見せて～」と骨格模型と戯れる高鷲っ子がたくさんいます。2年生教室の学校探検のふりかえりでは、「一年生は話の聞き方が上手でした。とてもうれしかったです。」との記述を見つけ、高鷲っ子の活動の充実感の表現に感心するとともに、人とのつながりを大切にする気持ちに触れ、とても嬉しくなりました。

5月は暑い日でも外で遊ぶことが多い高鷲っ子。掃除のヘルプだけでなく、昼休みに6年生と1年生が手をつないで遊んでいる姿もよく見かけます。中でも5月23日は全員が運動場で駆け回り。チャイムが鳴って手をつないで一緒に下足室に入り、手洗い後、1年生教室まで送り、窓越しにバイバイをする6年生。手は離しても気持ちはつながったままのようで、ほほえましい姿です。5月30日6年生の教室に入ると開口一番「これに驚いてくれなきゃ」。窓縁に並ぶ図工の時間に作った紙がいこつが壮観です。「1年生もがいこつさん好きだよ」と、「つながり」を喜びました。



◆「たかわし」を大切に～【たかわし】の【か】→粋な言葉がけから、考えて動ける発見に

5月某日給食回り中。「階段に魚おるの知ってる？」と高鷲っ子。「え～ほんま？」「昼休み見に行こう」「これ！」と高鷲っ子の指先に白い「魚」が。手すりの塗装がはがれた偶然のアートと一緒に楽しんでいると、「あ、ここにミャクミャクおる」新しい発見。「ようみつけたね」。見慣れているはずの高鷲小の新鮮な見方を高鷲っ子から教えてもらい、日常生活がちょっぴり豊かになりました。



5月某日朝回り中。廊下で「涼しそうな服やね～」に、「先生は暑いのに長袖やね」と高鷲っ子。数日後「まだ長袖がんばるの?」。どうしましょう…。5月某日下校中。玄関で「さようなら」に、「先生昨日遅くまで電気ついてたけど何時に帰ったん?」と高鷲っ子。「え～っと…」「今日は早よ帰ってや」。いや～参りました。よく見てるんやなあと感心しつつ、高鷲っ子の大人顔負けの粋なひとことから生活を見直さなあかんと考えさせられ、自分もこんなお気遣いができる人になりたいなと学びました。

◆6月行事予定(7月主なもの)は裏面に掲載しています。ご確認よろしくお願ひします。

5月16日の学習参観は、高鷲っ子も保護者のみなさまも緊張しつつも和やかな時間となりました。参観後の学級懇談会及びPTA総会も含め、たくさんご参加いただきありがとうございました。

6月22日は日曜参観があります。2時間目が各教室等で学習参観。3時間目が体育館で教育講演会(この間児童は授業)。4時間目が下校引き渡し訓練です。お子さまの学習の様子をご覧いただくとともに、保護者のみなさまと一緒に性の多様性について考えたり、昨今の自然災害等を想定した緊急時お迎え対応の訓練をしたり、子どもも大人も貴重な学びの機会と考えています。盛りだくさんの一日になりますが、ぜひたくさんご参加いただきご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

センダンの香りをかいて

5月13日の児童朝会。運動場でセンダンの木を眺めながら5月の茶(枝)→緑(葉)→薄紫(花)と色や様子の変化が感じられることについてお話したところ、数日後の登校時には自然に落ちた枝や散り始めの花を拾って観察する高鷲っ子の姿がみられました。「ほんまに紫や」「いいにおいがする」など味わっていました。

5月23日の午後。1年生が生活の学習でプール前でアサガオの観察のあと、音楽の時間に覚えた校歌2番を繰り返しながら運動場を対角線に歩いてきて、センダンの下にしゃがみ満開の木を見上げていました。これでもかと集めた手のひらいっぱいの花びらを匂って「くさい～(においがきつすぎる)」。幹に顔を近づけ「センダンの香りをかいて♪」と好奇心満載でした。

5月30日の昼休み。一点集中してセンダンを見つめて近づきながらそれぞれのポーズで止まる高鷲っ子と先生。「だるまさんがころんだ」に白熱。「映画の1シーンみたい」とそばで見ていた保健室の升谷先生。

センダンの香りと高鷲っ子のマッチング抜群です。



◆「たかわし」を大切に～「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

5月某日。たんぽぽ学級の畑でつくったタマネギを収穫する様子を、南校舎1階ボランティアルーム前廊下から見ていました。「見てみてこんなんとれたて～」と興奮の高鷲っ子の傍らで優しく見守る支援員の木村さんや新熊さん。日ごろからお手入れしていただき、当日も収穫の仕方を教えていただきました。そんな私が眺める後ろから「大きなタマネギたくさんとれてみんな嬉しそう。いい体験やね。この学校の畑はほんとすごいよ。」とボランティアルームの塚原さんたちがニコニコ。少しお話ししていると「遊びに来たよ」と元気な高鷲っ子が来室し、数分後にチャイムがなり「ありがとう～」と教室に帰っていきました。

この間ほんの数十分。改めて高鷲っ子がたくさんの方のみなさんの温かい支えで、豊かな学校生活を送ってるんだなと実感しました。

